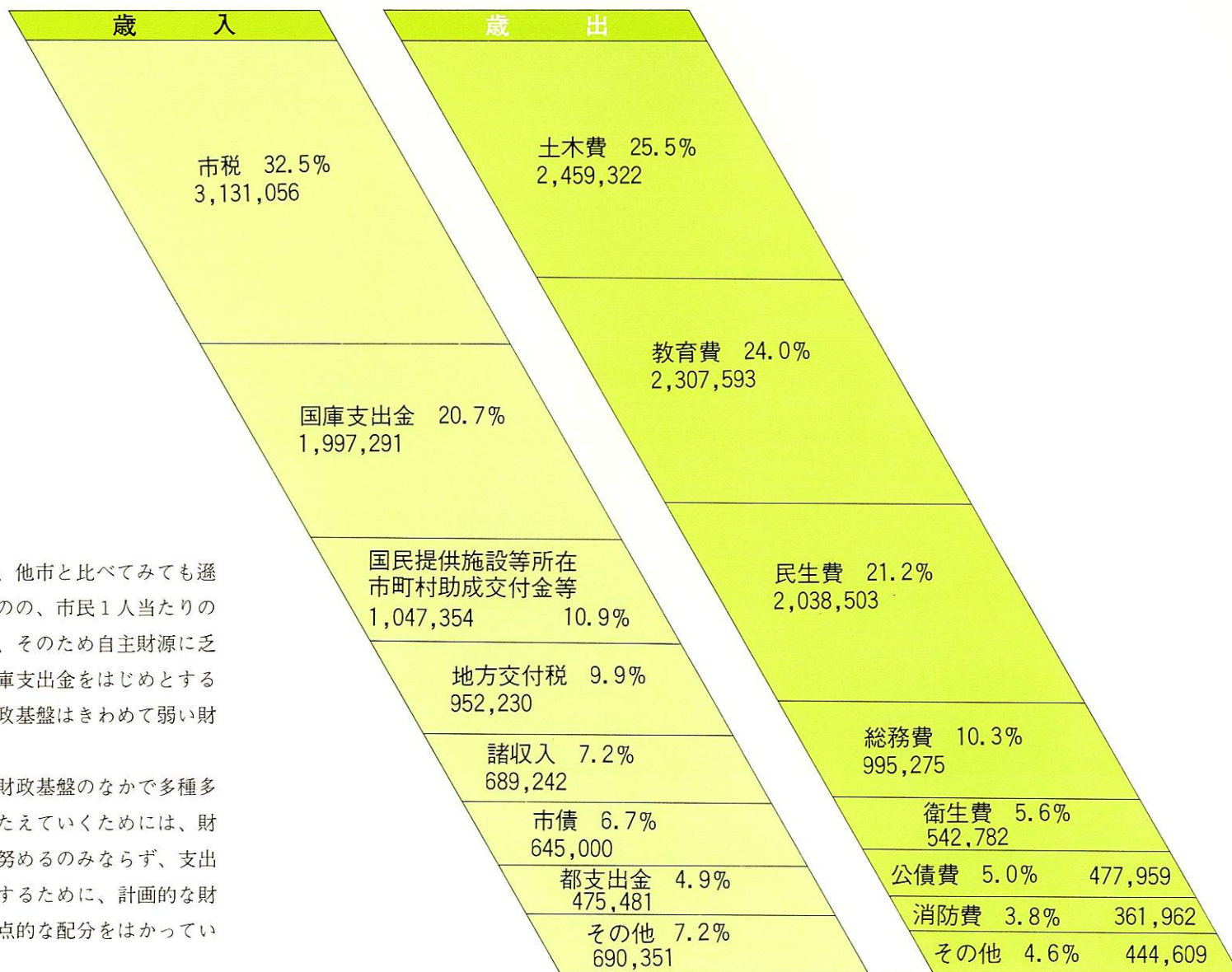


●55年度一般会計(総額9,628,005千円)



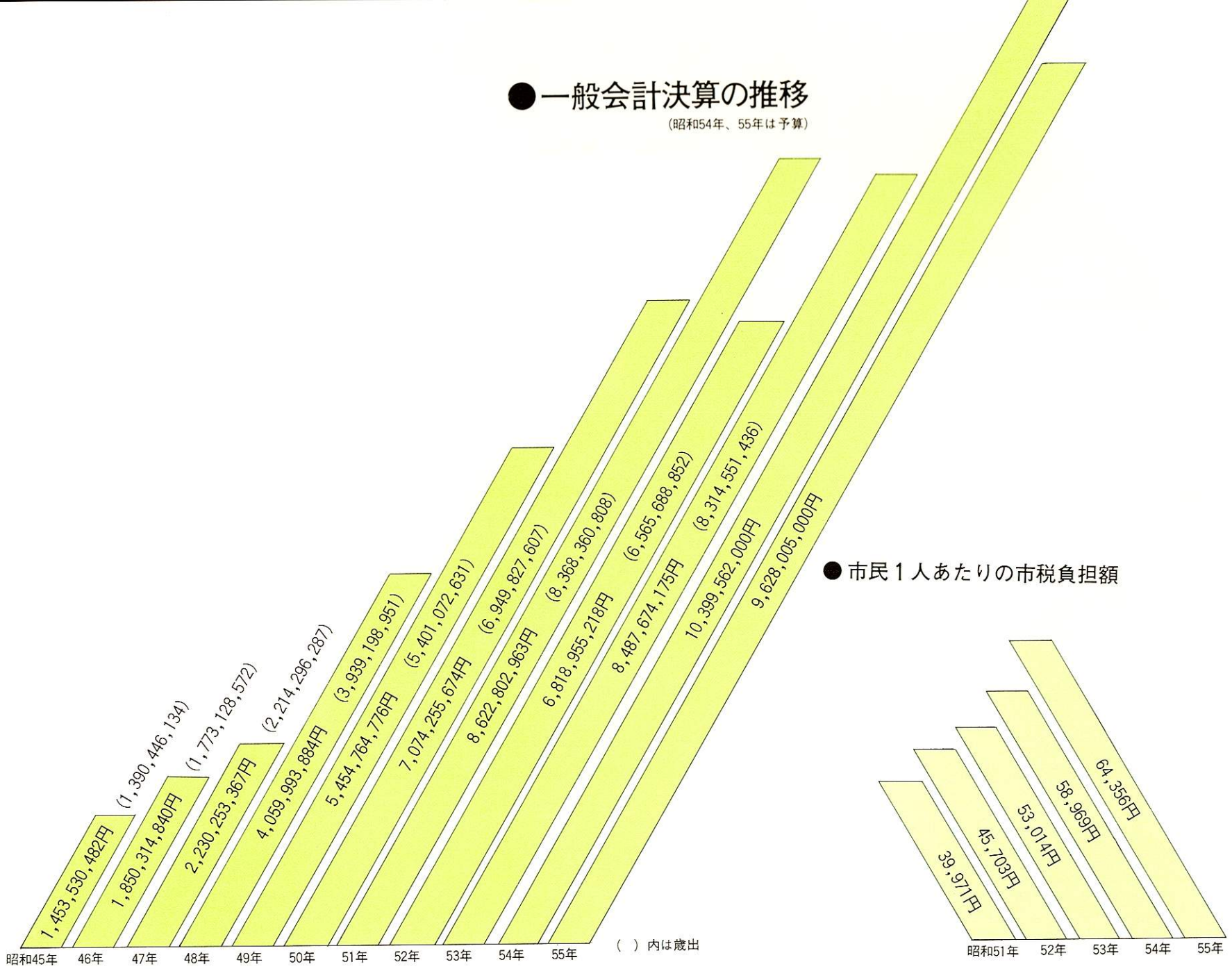
本市の財政規模は、他市と比べてみても遜色をみないというものの、市民1人当たりの市税はきわめて低く、そのため自主財源に乏しく、その多くは国庫支出金をはじめとする依存財源であり、財政基盤はきわめて弱い財政構造です。

このような脆弱な財政基盤のなかで多種多様な市民の要望にこたえていくためには、財源の確保に積極的に努めるのみならず、支出面での効率性を発揮するために、計画的な財政運営にもとづく重点的な配分をはかっていきます。

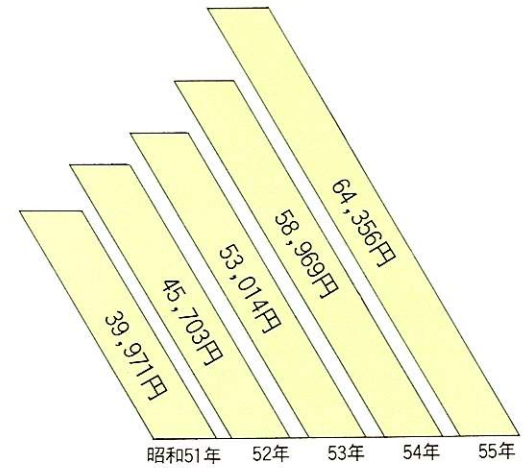
財政の計画的、効率的運営

● 一般会計決算の推移

(昭和54年、55年は予算)



● 市民1人あたりの市税負担額



() 内は歳出

をはかる